

## 第1回 甲府市社会福祉審議会 健康・保健専門分科会 議事録

開催日時：令和5年6月14日（水） 19時00分～20時10分

場 所：甲府市役所本庁舎6階 大会議室

出席委員：9人

欠席委員：1人

事務局：健康支援室長、地域保健課長、母子保健課長、医療介護連携担当課長、精神保健課長、健康保険課長、健康政策課長、外一般職員6人

担当課：福祉保健部 健康政策課

傍 聴：なし

### 次 第

- 1 開会
- 2 新任委員紹介
- 3 職員紹介
- 4 会長挨拶
- 5 議事
  - (1) 甲府市保健計画 令和4年度実績及び評価について
  - (2) 甲府市保健計画の概要及び計画策定スケジュールについて
  - (3) 次期甲府市保健計画に係わるアンケート調査の実施について
  - (4) その他
- 6 閉会

### 会議内容：

- 1 開会  
事務局より開会の挨拶を行った。
- 2 新任委員紹介  
平出様に代わり保坂様（甲府市養護教員研究会）が委員となったことを事務局より報告した。
- 3 職員紹介  
事務局より管理職職員の紹介を行った。
- 4 会長挨拶  
次期甲府市保健計画に関わる重要な内容である、アンケートの調査項目の検討を議題としているため、委員の皆様より忌憚のないご意見をいただきたい。

## 5 議事

### (1) 甲府市保健計画 令和4年度実績及び評価について

事務局より、「甲府市保健計画 令和4年度実績及び評価」について説明を行った。

#### 【委員】

特定保健指導等実施率が低いことが課題であると認識している。全国的にも同様の状況であると認識しているが、特定保健指導を行う場所の確保や、対象者の予定にあわせた日程調整等により、実施率の向上を図ることが望ましい。また、特定保健指導等実施率の目標は、前年度実施率からの増加だけでなく、高い目標値を設定することが求められる。

#### 【事務局】

ご指摘の通り、特定健診において特定保健指導の対象となった方が、実際に指導を受けていない実態は全国的な課題であると認識している。劇的な改善は難しいと考えるが、地道に対策を実施し実施率の向上を図りたい。また、がん検診では、検診後に精密検査の受診勧奨を実施し、受診が確認できない方には電話や手紙等で連絡をしている。

### (2) 甲府市保健計画の概要及び計画策定スケジュールについて

事務局より、「甲府市保健計画の概要及び計画策定スケジュール」について説明を行った。

#### 【委員】

国では、感染症対策と災害対応が一体となった健康危機管理体制を目指しているが、甲府市保健計画では、どのような連携がなされていくのか。

#### 【事務局】

感染症対策については、新型コロナウイルス感染症の予防計画を策定することになっており、保健計画とは別の枠組みで健康危機管理体制について検討するため、今後連携を図る。災害対策については、現計画の中で「大規模災害時の保健医療救護体制の構築」を掲げているため、市として計画の中にも含めるべきものがあれば内容を検討したい。

#### 【委員】

健診（検診）や健診（検診）後の指導の実施率、受診率を向上させるには、幼少期からのヘルスリテラシーの醸成が必要である。

#### 【事務局】

ご指摘の通り、幼少期からの教育が重要と認識している。計画策定の際にご意見をいただきたい。

### (3) 次期甲府市保健計画に係わるアンケート調査の実施について

事務局より、「次期甲府市保健計画に係わるアンケート調査の実施」について説明を行った。

#### 【委員】

歯科に関する設問を追加したことは大変好ましく思う。問 41 について、歯科検診を無料で受けるための申請が煩雑であることが課題と認識している。また、「市が実施する無料の歯科健診があることを知っていますか。」という問い方は漠然としているため、「生涯を通じて歯科検診が無料で受けられることを知っていますか。」と文言を修正してはどうか。

#### 【事務局】

歯科検診の種類として、成人歯周疾患健診や後期高齢者歯科口腔健診があることを付記する等して、回答者に分かりやすい設問とする。

**【委員】**

問 32 について、喫煙者は受動喫煙をさせる側であるため、「受動喫煙しないように」ではなく「受動喫煙をさせないように」と文言を変更すべきである。また、受動喫煙の説明について、「受動喫煙とは、たばこを吸わなくても他人のたばこの煙で被害を受けること」と記載があるが、受動喫煙が即時的に健康被害を及ぼすわけではないため、「受動喫煙とは、たばこの煙にさらされること」等と文言修正することが望ましい。

**【事務局】**

ご指摘を踏まえ、文言を修正する。

**【委員】**

設問 36 について、受動喫煙機会の有無と、受動喫煙の機会があった場所を同時に聴取する設問となっているため、設問を分離することが望ましい。

**【事務局】**

ご指摘を踏まえ、設問を分離するか検討する。

**【委員】**

選択肢が2つである設問において、「1つに○をしてください」と記載があるが、この記載は不要だと考える。

**【事務局】**

ご指摘の通り修正する。

**【委員】**

アンケートの回収率の目標値は30%程度と説明があったが、今回はアンケート調査票の郵送による回答のほか、回答用 WEB ページを用意し、スマートフォンやパソコンからの回答も得られるようにするため、前回アンケートと比較して回収率が上がるのではないかと。

**【事務局】**

アンケート調査数は前回と同様の 3,500 件である。1,000 件程度の回答が集まれば精度が高い分析ができると考え、回収率の目標値を 30%程度としている。今回は WEB でも回答できるようにするため、さらに回答率が上がる可能性がある。

**【委員】**

クロス集計を実施する場合、1,000 件程度の回答では、特定のカテゴリーに属する回答者数が少なく、有用な分析とならない可能性がある。また、分析の負担を減らせるように、事前にクロス集計を実施する項目や集計単位を想定しておくことが望ましい。

**【事務局】**

基本的には、前回と同様の分析をすることを考えている。アンケート結果は集計完了次第、委員に報告予定であるため、その際にご意見をいただきたい。

**【委員】**

設問 17 について、選択肢「12：運動教室（自宅でできる筋トレ、ストレッチなど）」と「13：家族（親子）で参加できる健康教室」の差異が分かりにくい。また、「12：運動教室（自宅でできる筋トレ、ストレッチなど）」とは、自宅でできる筋トレやストレッチを教えてもらえる教室のことを指しているのか、自分で映像等を見て実施するものを指しているのか等の説明が必要と思われる。

**【事務局】**

ご指摘を踏まえ、文言を修正する。

**【委員】**

問 8 について、健康上の問題で日常生活に影響がある頻度を尋ねたいのであれば、設問中の「何か」の記載を削除し、「健康上の問題で日常生活に影響はありますか。」と文言を修正することが望ましい。

**【事務局】**

ご指摘を踏まえ、文言を修正する。

**【委員】**

問 24 の健康づくりのための運動やスポーツに関する設問について、「やってみたいもの」と、「やっているもの」の2種類の内容を聞く設問となっているため、設問を分離することが望ましい。

**【事務局】**

ご指摘を踏まえ、設問の分離を検討する。

**【委員】**

設問 26 について、「平均的な睡眠時間」のイメージがつきにくいいため、「ここ 1 週間において」等と補記すると良い。

**【事務局】**

ご指摘を踏まえ、文言を修正する。

(4) その他

**【委員】**

保健計画の施策 8「医療環境の充実」の中に「救急医療体制の整備」が掲げられているが、甲府市では、医師の高齢化や人手不足が原因で、救急医療に係る十分な人材を確保できないという問題が発生している。山梨県との議論の中では、一次救急をA病院に集約する案が出ており、A病院にまで行かなければ救急医療を受けられなくなる可能性がある。この状況に対し、甲府市としてどのように対応すべきかを検討する必要がある。

**【委員】**

自治会連合会長や各自治会長にアンケートを実施し、各地区の自治会において保健に関する意識を高めることも重要だと考える。

**【事務局】**

今回、保健計画の他に、地域福祉計画、障がい者福祉計画等の複数の計画策定が進められているため、福祉保健局総務課とも相談し、対応を検討する。

**【事務局】**

アンケートは7月上旬の発送を予定している。今回の会議でいただいたご意見を反映したアンケート案を委員の皆様へ送付するため、内容をご確認いただきたい。次回の健康・保健専門分科会は9月中旬を予定している。